

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」  
教会の働き

「4日執り行われました、故住友美智子姉妹の召天式と納骨式において、主の豊かな恵みを覚える時を与えられました。主の愛と聖徒の皆さまのお祈りと支えに感謝のしるしとして、献花を捧げました。(島村克紀、由美子)」

- 9月教会牧会会議が7日(日)主日夕方賛美礼拝後にあります。関係者は参加して下さい。
- 9月14日(土)~15日(日)、教会の温泉旅行が予定されています。場所:河口湖ホテル美富士園
- 信州祈り会が9月8日(月)チャペル犀川恵みの家であります。お祈りお願いします。
- 男女宣教会の定期礼拝が9月11日(木)にあります。お祈りとご参加を。
- 熊谷茂美執事が、無事に手術を終え、退院されました。主の守りと導きに心から感謝いたします。完全な回復のために、引き続きお祈りして下さい。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんのが為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



## 聖餐式

賛美歌 205  
式辞  
聖書 マタイの福音書 26:26-29  
第一コリント 2:23-29

### 招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを願っている者は、全てこの聖餐に招かれています。いずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきであります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るよう祈ります。

祈祷(悔い改めの祈り)  
分餐  
パンの分餐  
ぶどう酒の分餐  
祈祷

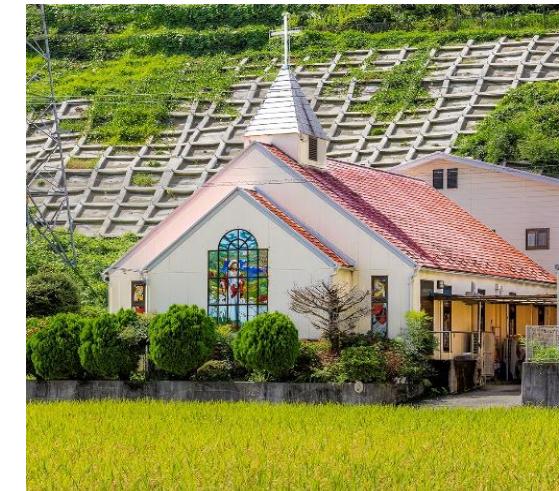
週報 2025-36号

2025.9.7

神の国とその義を  
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

# 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧師 柳承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳智愛(ヤナギ チエ)

## 主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード

韓芽唯

信仰告白

(使徒信条)

代表祈祷

高木はつ江

特別賛美

インマヌエル聖歌隊

ハッピーチーム

聖書個所

ヨハネの福音書 14:1

メッセージ(心を騒がせてはなりません)柳 承吉牧師

聖餐式

讃美歌 205

賛美

神の家族

祝祷

柳 承吉牧師

## 夕方賛美礼拝

PM 2:20~

賛美リード

韓芽唯

代表祈祷

北原孝子

聖書個所

ルカの福音書 13:6-9

メッセージ (実を結ぶ秋のために I) 柳 承吉牧師

主の祈り

## 水曜礼拝

PM 7:00~

司会

北原孝子

代表祈祷

松島浩一

聖書個所

ローマ書 7:7-13

メッセージ

柳 承吉牧師

(ローマ書 7 章の概略-3)

## 今週の御言葉

「心を騒がせてはなりません」 ヨハネ 14 章 1 節

### 現代人の最大の敵「心配」

ある心理学者の研究によると、私たちの心配の40%は決して起こらず、30%はすでに過ぎ去ったこと、22%は必要ないこと、そして本当に心配すべきことはわずか4%に過ぎないそうです。しかし、私たちはその4%ではなく、むしろどうにもならない心配やありもしない想像に心を奪われ、人生を浪費してしまうのです。まさに心配は、私たちの心と体を根こそぎ蝕む「最大の敵」なのです。

イエスのことば「心を騒がせてはならない」

イエス様は語られます。「心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」(ヨハネ 14:1)

この時、弟子たちは深い不安に包まれていました。3年半従ってきた主が、これから十字架にかかると告げられたからです。未来は不確かで、希望は見えませんでした。顔は心配と恐れで曇っていました。そんな弟子たちにイエス様が示された解決、それは「信仰」でした。信じる心があるところに、心配は根を張ることができません。信仰は心配を打ち碎く力なのです。

信仰によって心配を超える

ある時、飛行機のエンジンの中になにか入り、ガリガリと音を立てました。もし配線をかじれば墜落の危険があります。操縦士は迷わず飛行機をぐんぐん高く上げました。すると音は消え、着陸してみるとねずみは死んでいたのです。高い高度では生きられなか

ったのです。心配も同じです。私たちの人生をかじる「心配のねずみ」は、信仰をもって天に心を上げるとき、その力を失うのです。パウロもこう語ります。

「何も思い煩わないで、すべてのことを感謝をもって祈りと願いによって神にささげなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いを守ってくださいます。」(ピリピ 4:6-7)

天の希望に生きる

さらにイエス様は、弟子たちに「わたしはあなたがたのために場所を備えに行く」と約束されました(ヨハネ 14:2-3)。それは天に永遠の住まいを用意すること、そして十字架と復活によって罪という障害を取り除き、天への道を開いてくださることを意味しています。

私たちの最大の心配[死と未来への不安]は、このイエスによってすでに打ち碎かれました。天に永遠の希望があるからこそ、地上の心配を超えて生きることができます。「信じる」という言葉には「錨を下ろす」という意味があります。荒波に漂う船が大きな錨でしっかりと留められるように、私たちの人生もイエスに信仰の錨を下ろすとき、心配の波に流されることはありません。

「心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」どうか、信仰をもって心配の中から立ち上がり、平安の道へと導かれるイエス様の御手をしっかりと握って歩む人生となりますように。

### 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー).北原孝子(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー)熊谷茂美(祈祷)

水曜礼拝 韓芽唯(司会). 高木はつ江(祈祷)